

わくわく！ ふむふむ！

こどもたちへ

“いのち”を伝える

3月20日、動物園に「いのちのふれあいゾーン」が新しくオープンします。ふわふわのモルモットに触れたり、もぐもぐとごはんを食べるヤギやロバを近くで観察したりと、動物たちを間近に感じることができるエリアです。今月の特集では、いのちのふれあいゾーンを紹介しながら、動物園で行っている「いのちの教育事業」についてお伝えします。

いのちを伝える動物園

昭和25年に県内で初めての動物園として開園した浜松市動物園。ゾウやキリンなどの珍しい動物たちに会える場所として市民に愛されてきました。また、子供たちに「いのち」の素晴らしさや大切さを伝える「いのちの教育事業」にも力を入れています（いのちの教育事業については10ページで紹介）。

思い出に残る場所に

「いのちのふれあいゾーン」は、動物たちとの触れ合いを通じて、いのちの大切さを楽しく学んでもらえる場所です。今までのふれあい広場と比べ、規模が大きくなり、より多くの人に楽しんでもらえるようになりました。どの動物もかわいいですよ。新しく仲間に加わるミニチュアホース（大型犬より小さいサイズのウマ）も珍しい動物なので、ぜひ会いに来てください。

健やかに暮らしている動物たちの姿は、きっと皆さまの心を癒やし、「いのちのふれあいゾーン」を思い出に残るような場所にしてくれると思います。



はじめ 岩瀬 肇 園長

平成25年度に動物愛護教育センターを園内に開設してからは、犬や猫などの身近な動物たちを通じていのちの素晴らしさなどを伝える活動も行っています。今回オープンする「いのちのふれあいゾーン」は、そうした取り組みの一環として誕生します。子供たちが「わくわく」する楽しさいっぱい場所として、また、来園者が「ふむふむ」といのちの不思議を学べる場所として、動物園はこれからも「いのち」を伝えていきます。

いのちのふれあいゾーン

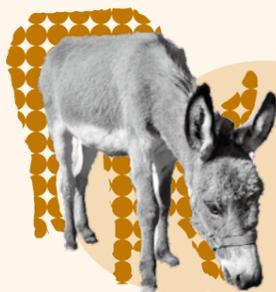
※写真は工事中のもの

④ロバ

散歩するロバの体を間近で観察できます。

ここに注目！

運が良ければ、鳴き声を聞けるかもしれません。童話などでは「ヒヒーン」と表現されますが、実際はどんな鳴き声か、確認してみよう。



⑤カンガルー

およそ20頭のクロカンガルーたちに会えます。筋肉が付いた後ろ足や太く硬い尾などの体の特徴を観察できます。

ここに注目！

クロカンガルーはおなかの袋で赤ちゃんを育てます。赤ちゃんがいるか、探してみよう。



⑥ポニー・ミニチュアホース

ブラッシングや足洗いなどのポニーたちの日々のケアを見ることができます。散歩する様子も観察できます。

ここに注目！

ポニーもミニチュアホースも同じ「ウマ」ですが、品種や個体によって模様や大きさが異なります。どんな違いがあるか、じっくり見てみよう。



①フライングケージ

鳥たちと同じ空間に入って、鳥たちが生活している姿を観察できます。

ここに注目！

さまざまな種類の鳥たちが暮らしています。種類によって、くちばしや羽根の形が違うので、ごはんの食べ方や歩き方、飛び方を比べてみよう。



②ふれあい棟

モルモットやウサギ、ハリネズミなど、小動物を飼育しています。イベント時には触れ合うこともできます。

ここに注目！

ふれあいイベントを通して、小さな動物たちのぬくもりや心音などを感じてみよう。



③ヤギ・ヒツジ

似ているようでちょっと違うヤギとヒツジ。毛質の違いや体格などの品種の特徴を間近で観察できます。

ここに注目！

ごはんを食べている姿を近くで観察できます。瞳の形や大きなひづめなどに注目してみよう。



飼育員の仕事ものぞけるよ

獣舎の掃除や動物のごはんの準備、動物の健康観察を行っている様子を見ることができます。動物たちが健やかに過ごすために、飼育員が日々どのような仕事をしているか、のぞいてみましょう。



体や表情の変化だけでなく、動き方や排泄物なども観察しています。

いのちの教育事業で伝えたいこと

子供たちの心を育む

「いのちの教育プログラム」

「いのちの教育事業」の中で、主な事業は、子供たちの遠足や校外学習に対応する「いのちの教育プログラム」です。動物を観察して特徴を見つめたり、動物ごとのエサの違いを学んだりする13のプログラムを用意しています。令和元年度は46団体延べ2036人が参加しました。

いのちの教育プログラムで講師を務める飼育員や獣医師にお話を聞きました。

生きる力を育む

プログラム名

「動物の食性とからだの関係」



ともか 北島知佳 飼育員

Q プログラム内容は？
ライオンとシマウマの頭骨を見たり触ったりしてもらいながら、動物の食べるものや体の特徴を伝えます。

Q 「生きる力」って？

生きる力は、たくましく健やかに育つ力だと思います。広い地球には、人間だけではなく、たくさんの生き物が自分の力でたくましく生きています。動物の特徴を観察して、野生でたくましく生きる姿を想像してみてもいいです。

Q 広報を読んだ人へメッセージ

動物たちはさまざまなものを食べて健やかに過ごしています。動物園では動物たちがどんなものを食べ、どんな体のつくりをしているのかに注目して、子供たちと一緒に動物を観察してほしいです。

肉食動物



草食動物



肉食動物は鋭く尖った犬歯が特徴的。一方で草食動物は、草をすりつぶすための臼歯と顎の骨が発達している。

いのちを大切にすることを育む

プログラム名

「動物たちのいのちと向き合う」



白澤純 獣医師

Q プログラム内容は？

動物愛護教育センターに引き取られる動物たちの現状や、動物のいのちを扱う責任の重さを伝えます。子供たちには、大人でも答えるのが難しい質問を投げかけますが、こちらからは答えを示しません。子供たちに考えてもらうことを大切にしています。

Q 「いのちを大切にすることを」って？

相手の立場で考えられる心だと思えます。子供たちには、いのちについて考えるためのさまざまな視点を持ってほしいです。

Q 広報を読んだ人へメッセージ

いのちの大切さについてぜひ家族などでも話し合ってみてほしいです。



動物愛護教育センターでは、飼い主がいない犬や猫が新しい家族と出会うよう、譲渡活動をしています。

自然を大切にすることを育む

プログラム名

「サルと生物多様性」



堀尾典史 飼育員

Q プログラム内容は？

動物が生きていくためには、たくさんの生物との交わりと、豊かな自然環境が必要です。サル舎でいろいろなサルを実際に見てもらいながら、種別の特徴や食べるものなどについて説明し、生物の多様性や環境の豊かさがいかに大切かを伝えます。

Q 「自然を大切にすることを」って？

地球上の自然や生き物のことを考えられる力だと思います。動物と自然を結び付けて考え、豊かな自然や多様な生き物たちに思いをはせてみてほしいです。

Q 広報を読んだ人へメッセージ

外で生き物を見たり触れたりしたときに、自然を大切にしようということをお子供たちに教えてもらえたらうれしいです。

アピシニアコブス



木の葉を主食とし、主に木の上で暮らすサル

ドグエラヒヒ



地上付近の虫や果物などを食べる、主に地上で暮らすサル

浜松市動物園

およそ90種340点の動物を飼育。中でも霊長類の展示は国内の動物園としては最大級です。国内で唯一の展示となるゴールデンライオンタマリンにも会うことができます。

※3月1日(月)～19日(金)は臨時休園

◆動物園ホームページをご覧ください
・動物のトレーニングやごはんの様子を動画で公開しています。
・イベントや教育プログラムの実施については、新型コロナウイルス感染症の状況により判断します。スケジュールは、随時ホームページで公開します。

HP わくわく はまZOO

いのちを大切にできる子供に「生きる力」「自然を大切にすることを」「いのちを大切にすることを」この3つを育むことは、思いやりの心を育むことにつながると思います。人も動物も、一つのいのちです。いのちは、一度失われたら戻ることはありません。「いのちの教育」を通して、子供たちにいのちが尊いものであることを実感してもらいたいと思っています。そして、周りの人や動物などの「いのち」を大切にできるようになってほしいです。



井口義博 センター長